

令和3年度



学校だより  
6月号

令和3年6月7日

横浜市戸塚区秋葉町203-2

電話 811-9345 FAX811-5961

# かわかみ

横浜市立川上小学校

## 「特別な運動会」を終えて

学校長 堀部 尚久

水無月（みなづき）6月も一週間が経ちました。水無月の由来は諸説ありますが、水無月の「無」は「の」という意味の連帯助詞「な」を表し、「水の月」とする解釈がある一方で、旧暦で云えば、文字通りに梅雨が明けて水が涸れてなくなる月、田植えが終わって田んぼに水を張る必要のある月「水張月（みずはりつき）」だという解釈もあるそうです。いずれにしても、「水」という文字をあてていることから、梅雨を意識する時季となりました。

さて、過日の「令和3年度130周年記念大運動会」は、成功裏のうちに終えることができました。今回の運動会も、昨年同様コロナ禍における「特別な運動会」となりましたが、本年度は130周年の節目の年に行う運動会というさらに「特別」な要素を加味した運動会でもありました。保護者の皆様、また地域の代表として参観いただいたご来賓の皆様には、朝早くから温かい拍手を賜りました。心より感謝申し上げます。また、当日はもとより、前日遅くまで様々な準備や打ち合わせに労を惜しまず支え続けてくださったPTA役員・実行委員・保護者有志の皆様には、重ねてお礼を申し上げます。

当日の子どもたちの姿は、前日までの練習にも増して、ひた向きに一生懸命に頑張る姿ばかりでした。徒競走では、一人ひとりが一心に全力でゴールを目指す姿が見られました。リレーでは抜いたり抜かれたりが繰り返され、スタートからゴールまで力強い走りとバトン渡しの巧みさが見られました。集団演技では、笑顔いっぱい仲間と共に一つの演技を楽しみながら創り上げている姿が見られました。演技を終えた子どもたちが見せた「やり切った」という表情は、本当に印象的でした。高学年が引き継いで演じる川上ソーランもダイナミックできれいのある力強い動きが観ている人を魅了しました。また、運動会を終始盛り上げ続けた応援団の姿には心から感激しました。全員で大きな声を出すことができない状況下での掛け声や動き、そして真剣な表情で応援をリードした子どもたちは、しっかりとその役割を果たしました。縦割りグループ競技では、学年を超えた励ましやいたわり、ねぎらいなどの声掛けが微笑ましく感じられました。さらに、上学年の子どもたちの係活動に取り組む姿には、進んで体を動かす責任感が感じられました。これらの姿は、どの姿を見ても、運動会テーマ「心をもやせ みんなかがやけ130」として目指した「心を燃やす姿」であり、「輝く姿」だと思います。

「リズムに乗って踊る子どもたちは自信に満ちあふれていた」「大好きなダンスを生き生きと踊る姿が可愛かった」「団長をはじめ、応援団の熱い応援にエネルギーをもらった」「高学年としての役割に対して、誇らしく積極的に取り組む姿に成長を感じた」「縦割り活動を通して、高学年の児童が低学年の児童をフォローしている姿がたくさん見られて素晴らしかった」「開会式、閉会式の子どものスピーチは、自らを見つめ振り返り、新たな自分との出会いや発見に繋がると思う素敵な機会だった」など、保護者や地域の皆様からも、アンケートを通して本当にたくさんのお褒めや価値付けの言葉をいただきました。「特別な運動会」のなかで、競技・演技に限らず、様々な場面で「輝く姿」を見せ、観る人にたくさんの感動を与えた子どもたちに、改めて大きな拍手を送りたいと思います。

運営面では、本年度も様々な制約の下、保護者・地域の皆様には多くのご理解とご協力をいただきました。「新しいスタイルの運動会」が今後も求められることを視野に入れながら、今年の実行を次年度の運動会に繋げていきたいと思っています。運動会を通して子どもたちに育んできた育ちが、今後の学びや生活によってさらに磨かれますようにと願いながら、6月、いよいよ慈雨の季節を迎えます。